

組合員によるJA運営

協同組合は、1人1票制で民主的な運営を行っています。

正組合員から、理事や総代が選出され、総代会での議決権や役員の選挙権などJAの運営に参画しています。

准組合員は運営に参画することはできませんが、

事業の利用、活動への参加によって地域振興を共に支えるパートナーの役割を担っています。

役員選任方法・体制

農協法改正(平成28年4月)を踏まえた、当JAの役員選任方法・体制については、以下のとおり対応していきます。次回役員改選は、平成32年6月の総代会となっています。

JAでは、現行の選任方法においても認定農業者及び実践的能力者が理事の過半数を占めている(現行:94.4%)ことから、これまでどおり地区代表役員については、役員推薦会議・推薦委員が役員の資質・能力を備えた適任者を役員候補者として推薦いたします。※ただし、理事については、地区毎に推薦した結果、「認定農業者」と「実践的能力者」がJA全体で過半数に満たなかった場合には、再選出することもあります。

役員の資質・能力とは？

役員の選出にあたり、法・定款・規約の趣旨に基づく有資格者である他、次のような基準を備えた人物を選出することについて、役員推薦会議で申し合わせを行なながら、選任手続きを行うこととしています。平成29年3月時点での申し合わせ内容は以下のとおり。

- 一．JAあまみの役員の選出にあたっては、農協法・定款・規約の規定を遵守する。
 - 一．すべての組合員と一緒に協同活動に積極的に努力する人を選出する。
 - 一．自らJAの事業を利用し、率先実行する行動力のある人を選出する。
 - 一．組合員の財産を安心して任せられる私利私欲のない道義心の高い人を選出する。
 - 一．組合員を差別しない公正な人を選出する。
 - 一．選出にあたり、金銭・物品等の供与や供応接待等JAの体面を汚すような行為をした候補者は選出しない。
 - 一．選出にあたり、反社会的行為に関与しない「十分な社会的信用」を有している候補者を選出する。
 - 一．利害関係を利用して選出を誘導するような行為をした候補者は選出しない。
 - 一．役員推薦委員選出委員は、JAあまみの役員の選出にあたっては、金銭・物品等の供与や供応接待等JAの体面を汚すような行為はしない。

J Aでは、今後も組合員や地域のみなさまとの話し合いを行いながら、農業とくらしの発展に貢献してまいります。ご不明な点・ご意見等につきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

JAあまみ(本所企画管理部)

TEL.0997-62-3739 (代表)

地域農業とくらしの未来

JA あまみ

JAあまみは、農業とくらしの発展に貢献するための事業や活動に取り組んでいます。

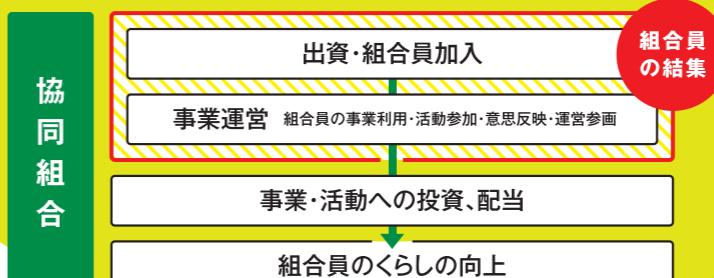
組合員や地域のみなさまとともに、ふるさとを支える
JAとしての役割を發揮してまいります。

① 組合員の結集が農業とくらしを守る

J Aには、安心・安全な国産農畜産物の安定供給や、農業振興・農地の保全への取り組みが求められています。また J Aは、組合員が連携して助け合う「相互扶助」の精神のもと、力を合わせ農業や生活を守り、よりよい地域社会を築くことを目的としています。当 J A管内の人団と組合員は下表のとおりであり、農家や地域の方々の

管内人口 (H29.3) 106,250人	組合員 (H29.3) 正組合員 10,938人 准組合員 7,825人
---	--

「協同組合」は「株式会社」と異なり、組合員が結集することが事業・活動の活性化に繋がります。



株式会社

株式投資・株主

事業運営

多額の利益の場合、株価上昇

配当金、株式売却により利益

個人の利益追求

2

農業振興への取り組み

「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」に向けた取り組みを強化します。

農畜産物販売事業

組合員の営農形態に応じた総合的な支援によって、地域・組合員・JAが一体となった農業収入の増大に取り組んでいます。

- 1 県経済連等系統組織や市町村等地方行政との連携を取りながら、各生産部会との話し合いを通じて、奄美の地理的特性を生かした産地づくりを行っています。
 - サトウキビ増産や繁殖雌牛増頭の取り組み
 - 輸送コスト軽減対策
 - 各消費地での販促活動及び情報発信による販路拡大
 - 部会組織における視察や研修会の実施 等

- 2 担い手や新規就農者への農業融資支援等を通じて農業生産基盤の維持・強化、地域の活性化に取り組んでいます。
 - 奄美群島繁殖雌牛導入応援資金の新設(H29年8月~)
 - JAバンク新規就農応援事業の実施
 - 各種農業制度資金の取扱い

生産資材購買事業

部会や担い手経営体のニーズを把握し、コスト抑制対策に取り組んでいます。

- 1 予約購買方式の見直しによる資材価格の低減。
- 2 事業分量や取引先様態に応じた弾力的な購買資材価格の設定。
- 3 農機リース事業など各種事業(畜産クラスター等)の活用による農作業の効率化・コスト削減につながる営農支援を実施。

3

地域の活性化への取り組み

地域インフラとしての事業や、事業本部を拠点とした活動など、「地域の活性化」に貢献します。

くらしを支える事業

組合員・地域住民の方々が元気で安心して暮らせるよう結びつき・きずなの強化に取り組んでいます。

- 年金受取をはじめとして、魅力ある金融商品(貯金・積金・給与振込・ローン)の取扱いや相談会などによるサービス等の充実を図り、地域に密着した信用事業を行っています。
- 「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供など、組合員・利用者および地域住民が安心して暮らせるための共済事業を行っています。
- 行政や県厚生連と連携した健康増進活動(巡回健診)を行っています。
- Aコーポ事業等の充実により、離島における暮らし(生活)の向上と安定に寄与しています。
- 本県JAグループの施設でポイントが貯まって使えるJADDOカードを導入し、組合員・会員へのサービス向上を図っています。

事業本部を拠点としたくらしの活動

組合員・地域住民とともに、事業本部を拠点としたくらしの活動・事業を通じて地方創生に貢献しています。

- 青壮年部及び女性組織の活動を強力に支援し、組織活動の活性化に取り組んでいます。
- 農業体験などの食農教育活動を通じて、次世代との結びつき強化に取り組んでいます。
- アンパンマン交通キャラバンや少年サッカー大会などを開催し、地域貢献活動に取り組んでいます。
- 事業本部便り発行による地域に根ざした情報発信を行っています。
- 育てよう笑顔プロジェクトによる地域清掃活動を実施しています。
- JAMまつりなどのイベントを通じて、組合員・地域住民とのふれあいづくりに取り組んでいます。
- 訪問活動による組合員・地域住民のニーズ把握に努めています。